

風しんに関する緊急対策について

現在の風しんの発生状況を踏まえ、風しんの感染拡大防止のための対策を実施します。

1 内容

- (1) 抗体保有率が他の世代に比べて低い39歳から56歳の男性に対して、予防接種法に基づく風しんの定期接種を実施します。
- (2) 成人の風しん対策事業として実施している任意接種の費用助成を拡大します。

2 概要(予定)

項目	(1) 定期接種	(2) 任意接種
対象者	39歳から56歳の男性(昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生れ)	19歳以上の区民で風しんの抗体価が低い人で、次のいずれかに該当する人 ア 妊娠を希望する女性 イ 妊娠を希望する女性の夫(パートナーを含む。以下同じ)・同居者 ウ 風しん抗体価の低い妊婦の夫・同居者
人数	39,698人(平成30年12月1日現在)	申込制
実施期間	平成31年3月中旬から平成33(2021)年度末まで	平成31年4月1日から3年間
実施の枠組	抗体検査⇒抗体価陰性⇒風しん定期接種	抗体検査⇒抗体価陰性⇒風しん任意接種
実施方法	準備が整い次第、抗体検査受診票を個別送付、抗体価陰性の人には政省令改正後に予診票を発行する。	申込により抗体検査受診票を送付し、抗体価陰性の人に、予診票を発行する。

3 国の動向

(1) 「風しんに関する追加的対策 骨子」(平成30年12月13日厚生労働省)抜粋

現在の風しんの発生状況等を踏まえ、感染拡大防止のための追加的対策として、以下の取組について速やかに行う。(12月19日現在、全国で2,713人の患者報告)

- ①これまで予防接種法に基づく定期接種を受ける機会がなく、抗体保有率が他の世代に比べて低い現在 39歳から 56歳の男性に対して、区市町村が予防接種法に基づき風しんの定期接種を全国で原則無料で実施する。
- ②ワクチンの効率的な活用等のため、区市町村は抗体検査を全国で原則無料で実施し、結果が陰性だった者に対して風しんの定期接種を行う。
- ③特定健診や事業所健診の機会に抗体検査を受けられるようにすることや、夜間・休日の抗体検査・予防接種の実施に向け、体制を整備する。

(2) 実施目標

- ① 現在、79.8%である(1)の対象者の世代(全国で約 1,610万人)における抗体保有率を、2020年7月までに85%以上とする。(国全体の抗体保有率は約93%となる。)
- ② 2021年度末までに上記の世代の抗体保有率を90%以上とする。(国全体の抗体保有率は約94%となる。)

4 これまでの区の実施

平成24年夏頃から首都圏を中心とした風しんの流行を受けて、平成25年度より緊急対策として予防接種の費用助成を開始しました。平成26年度からは風しん対策をより効果的に実施するため、抗体検査(無料)を導入しました。

また、平成30年11月からは19歳以上の区民で、妊娠を希望する女性の配偶者(パートナーを含む。以下同じ)・同居者で風しん抗体価が低い者、風しん抗体価が低い妊婦の配偶者・同居者で風しん抗体価が低い者を対象者に追加しました。

(区の助成額 風しん単独ワクチン 3,000円、麻しん風しん混合ワクチン 6,000円)

助成対象者	抗体検査費用助成	予防接種費用助成
妊娠を希望する女性	○	○
妊娠を希望する女性の配偶者等	○	×⇒○HBO.11以降

5 今後のスケジュール(予定)

平成31年2月・3月 区ホームページ及び広報みななどにお知らせ記事掲載
 3月中旬以降 抗体検査受診票発送
 4月以降 予防接種を実施

平成32年度以降平成33年度末まで

抗体検査未受診者及び予防接種未接種者に対して、勧奨はがきを送付後、受診票又は予診票を個別送付予定